

質問書に対する回答書

徳島県企画総務部管財課

委託業務名 徳島県本庁舎クラウド PBX 設備構築等業務

委託業務箇所 徳島市万代町 1 丁目

質 問	回 答
NEC ネットエスアイ株式会社四国支店	
仕様書 5. 3 (2) ・外線転送に伴う通話料の算出及び提案 想定される通話料金と通話時間をご教授ください。	県庁 CC では、年間約 7,000 件の電話転送を行っています。1 件当たりの通話時間は 10 分と想定してください。なお、現在は内線転送のため通話料金は発生しておりません。
仕様書 5. 3 システム構成要件（本庁舎及び CC） 本庁舎クラウド PBX と CC クラウド P B X は、同一テナントで想定しておりますが、宜しいでしょうか。	徳島県本庁舎内で、本庁舎は 4 階に設置されている既存 PBX です。 CC は本庁舎 1 階に設置されている PBX です。
仕様書 5. 6. 1 (7) ⑧『スマートフォン（BYOD）の利用にあたり、業務データとプライベートデータの分離、及び端末紛失時等に業務アプリ内のデータのみを遠隔消去（リモートワイプ）等が可能な MAM（モバイルアプリケーション管理）機能、又は同等のセキュリティ対策を提案すること。なお、本県が利用している Google Workspace (IdP) と SAML2.0 を用いたシングルサインオン（SSO）連携を活用した構成での提案も認める。』を将来対応（別調達）とさせていただけないでしょうか。	スマートフォン（BYOD）利用におけるセキュリティ確保（データの分離・遠隔消去等）は本調達において必須の要件であるため、将来対応（別調達）とすることはできません。 ただし、本県が既に利用している Google Workspace（GWS）の MAM 機能や IdP 連携（SAML2.0）をそのまま活用し、コストを最小限に抑えた柔軟な構成での提案を認めております。
仕様書 5. 6. 2 (4) ④ CC で利用される PC に必要な不正プログラム対策について、具体的にご教授ください。	監視とログ収集、サイバー脅威の検知、迅速な封じ込め、調査と復旧に対応可能な EDR（Microsoft Defender for Business など）を想定しています。

仕様書 5. 8 運用サポート・保守について 本件の保守範囲として、今回既存本庁舎 PBX に実装する PRI カードは含まれる認識でよろしいでしょうか。	PRI カードについては保守対象ではありません。
仕様書 5. 8 (4) 障害発生時の受付時間は、「24 時間 3 6 5 日」となっておりますが、対応については、平日日中帯（9：00～17：00）で宜しいでしょうか。	質問のとおりで構いません。
審査基準表 2. 審査項目および採点基準 稼働環境・信頼性・セキュリティ・保守体制 『庁舎に求められる強固なセキュリティ』について、徳島県様で定義されているものをご教授ください。	「行政機関（行政サービス）として求められる強固なセキュリティ」を意味しています。具体的には、提案されるクラウドサービスが ISMAP に登録されていることや、別紙に示すクラウドサービス提供事業者の選定基準を満たすこと等を要件としています。
受託候補者選定に係る企画提案募集実施要領 10 (3) セキュリティ要件の条件をご教授ください。	提案されるクラウドサービスが ISMAP に登録されていることや、別紙に示すクラウドサービス提供事業者の選定基準を満たすこと等を要件としています。
仕様書 5. 6. 1 (7) ⑧ 本件が利用している GoogleWorkspace(IdP) と SAML2.0 を用いたシングルサインオン(SSO)連携を活用した構成での提案も認める。 ご使用されているエディション、数量等ご契約内容をご教授願います。	エディションは「Google Workspace Enterprise Plus」を利用しています。本業務の対象となる県職員には全てライセンスが付与されています。
BYOD にて使用するスマートフォンのデバイスの機種と OS についてご教授ください。	機種は、各職員が所有する私用端末を想定しています。また、OS は、主に iOS 及び Android を想定しています。
NTT ドコモビジネス（株）	
5.3 章(2) CC の番号は独立したフルクラウド構成 独立したフルクラウド構成とは、CC の電話番号の回線を県庁舎内に設置しないで、クラウド上に回線を番号ポータビリティで移行するという理解でよいでしょうか？	現在、CC は本庁舎 PBX とは別の PBX(オンプレミス型)で運用しており、クラウド PBX に移行後も同様に、本庁舎 PBX から独立した構成にしてください。

5.3 章(2)外線転送に伴う通話料の算出及び提案 (1)フルクラウド構成の電話回線は 3 番号 12ch 以上の試算でよろしいでしょうか？(5.6.1 章 (4)に CH 数の記載を参照) (2)上記の回線の通話料はお見積りに含める必要がある場合、固定電話と携帯電話への月の平均発信回数・平均通話時間をご提示ください。 (3-1)転送は、西部と南部の電話回線で実施する想定です。 (3-2)転送時の通話料金は、西部と南部の電話回線で発生する想定です。そのため、今回は西部と南部の電話回線は提案対象外でよいでしょうか？ (3-3)西部と南部の電話回線以外で転送がありましたら、ご提示ください。 (3-4) 提案対象であれば、転送料や通話料も、今回の提案額(本庁側に含めることでよいですか?)に含めるという理解で良いでしょうか	(1)5.6.1 は本庁舎の要件です。 フルクラウド構成は CC の要件ですので、5.6.2(3)に記載のとおり、3 回線(番号) 12ch 以上でお願いします。 (2)携帯電話への発信は極めて少ないため、固定電話への転送(年間約 7,000 件、1 月当たり 600 件弱)に係る通話料金を対象とします。1 件当たりの通話時間は 10 分と想定してください。 (3-1)(3-2)西部・南部への入電の自動転送は、今回の業務と無関係のため、対象外です。 (3-3)(3-4)CC への入電のうち年間約 7,000 件を担当所属宛てに転送しています。この転送に係る通話料金を対象とします。CC の通話料金ですので、本庁舎の提案額とは別にしてください。
5.5 章(2)想定する構成図 (1)西部と南部への入電の転送先は本庁へ転送するとありますが、転送先は 621-2500 で良いでしょうか？ (2)西部と南部の電話番号は、【常に】転送することで良いでしょうか？ (3)西部と南部の電話番号にて、相手に発信する(相手に西部と南部の電話番号を通知する)運用は【ない】と想定してよろしいでしょうか？	西部と南部からの転送は現状を示したものであり、クラウド PBX 導入後も引き続き同様の運用を行います。今回の業務とは無関係です。
5.6.1 章(4)既設電話回線 (1)20 番号すべてクラウド化(5.2 章の(2)で示す独立したフルクラウド構築)し、番号ポータビリティで移行する認識で良いでしょうか？ (2)この回線は、20 番号以上と 20CH 以上のクラウド化の回線とすることで良いでしょうか？ (3)20 回線以外の残りの電話番号は既設のオンプレ PBX に収容されている回線のままと認識で合っていますか？	(1)本庁舎は一部の回線をインターネット環境に置き換え、クラウド化を実現するもので、既存 PBX の回線のままになり、番号ポータビリティはしません。 (2)20 回線以上をクラウド化し、1 回線に複数の任意の内線番号を割り当てが可能であること。 (3)記載のとおりです。
5.6.1 章(7)	BYOD のスマートフォンは対象外です。当

⑥不正プログラム対策 PC 等とありますが、BYOD のスマートフォンは対象外でしょうか？	該端末においては、個別の不正プログラム対策等ではなく、仕様書 5.6.1(7)⑧に記載の要件（MAM 機能等による業務データの分離や保護等）によって担保することを想定しています。
5.6.1 章(7) ⑧スマートフォン(BYOD)の利用 業務データとプライベートなデータの分離・業務アプリ内のみデータを遠隔消去する機能は、Android 限定の対応でも可能でしょうか？(iOS の場合は対象外としても良いでしょうか？)	本県では iOS 端末の利用も想定しているため、iOS を対象外とすることはできません。Android および iOS の両方に対応する必要があります。 なお、本県が利用している Google Workspace (GWS) の MAM 機能（基本機能）を活用する場合、追加のライセンスコストをかけることなく、標準で Android・iOS 双方の管理（データの分離や遠隔消去）が可能です。
5.6.2 章(3)既設回線(3 回線・12ch 以上) (1)3 番号すべてクラウド化（5.2 章の(2)で示す独立したフルクラウド構築）し、番号ポータビリティで移行する認識で良いでしょうか？ (2)現行の 6ch から 12ch 以上に増設するという理解です。	ご認識のとおりです。
5.8 章(4) (1)故障受付は、クラウド PBX に関する受付で良いでしょうか？ （MAM、納品する PC に関する受付は対象外でしょうか？） (2) 故障受付で MAM、納品する PC も対象となる場合、クラウド PBX と MAM と PC の受付は別々の窓口とすることは許容されますでしょうか？ また、PC については、平日日勤帯とするなどの対応は可能でしょうか？	(1)本庁舎は、SBC 機器を対象機器とする。 CC は PC も対象とします。 (1)MAM に関する受付も対象とします。なお、MAM に関しては、本県が既に利用している Google Workspace (GWS) の MAM 機能を活用した提案とする場合、MAM 基盤自体への故障受付は対象外（本県の既存運用側で対応）として差し支えありません。 (2)受付窓口が別となることは問題ありません。 PC については平日日勤帯のみの対応も可とします。 (2)MAM に関する受付窓口を他の窓口と分けることは問題ありません。
5.9 章 ISMAP MDM(MAM)をクラウドサービス利用とする場	事業者が独自の MDM (MAM) クラウドサービスを新規に提案される場合は、原則と

合、ISMAP 対応、事前確認項目は必須でしょうか？	して ISMAP 対応等を求めます。 ただし、仕様書に記載の通り、本県が既に契約・導入している「Google Workspace (GWS)」の MAM 機能を活用した構成で提案される場合は、GWS 自体が ISMAP 登録済みであるため、事業者様側で新たな ISMAP 対応等の確認や担保は不要（免除）となります。
-----------------------------------	--